

になりました。

このプログラムの中には、異文化を学ぶ上での心構えや、コミュニケーションにおける自身の立ち位置を分析する少人数のセミナーのような授業があります。こちらについても、またの機会に触れたいと思います。

能登半島地震教訓ツアー

～能登半島地震被災地

レポート続編～

賛助会員 江上 美穂

偕行11・12月号に掲載された能登半島被災地レポートの最後で触れた令和6年元旦に発災した地震の教訓を実際に被災地に訪れ自ら学ぶ事を目的としたツアーを同年10月19日、20日に開催しました。

能登里山空港にて集合し、自家用車で輪島市街地と郊外を見学、宿泊は江上邸。食事のみ実費で、他は全てボランティアとしました。また今回は受け入れ人数に制限を設けて実施させてもらいました。参加者は東京都内で活躍中のジャーナリスト、県庁職員、JICA職員の3名を厳選しました。

以下はツアー参加者から後日いた

だいた学びのメッセージです。

① 帰りの空の旅、快適でした！

昨日・本日と大変お世話になりました。とても考えさせられました。また、次回もぜひ参加させていたただければ有難いです！

本当に色々とお手配・ご配慮いただき、誠に有難うございました！

② この度は、貴重な機会をいただき、また色々なお手配、ご配慮をいただき、本当にありがとうございました。現地を直接拝見し、街の雰囲気と中々進まない復旧復興の様子を目にして、どうしたら良いのかと考えながら帰宅の電車に揺られております。せつかくのご縁、今後も引き続き、よろしくお願いいたします。

③ ただいま帰宅致しました。この度は大変お世話になり、ありがとうございました。予想以上に復旧が進んでいないことに大きな衝撃を受けました。まずはこの現状を多くの人に知ってもらうことが重要ですね。本当に色々なことを考えさせられると共に、多くの学びがありました。

次回に向けていろいろ企画を練りたいと思います。引き続きよろしくお願いたします。